

【22_318技術系メルマガ】なぜ、知識が増えるほど勝てなくなるのか

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

MA、ボリバン、フィボナッチ、水平線、トレンドライン・チャンネルライン・・・

分析に用いられるテクニカル要素は、それこそ海千山千と存在しますが

一貫性を持ったトレードを行う事を考えると、その沢山の要素の中から

自分にとっての【唯一の武器】を選択する事が重要です。

知識だけを広く浅く蓄えたところで、トレードは勝てないというのは

これを読んでいる皆さん含め、多くの人が理解・実感していることと思います。

┌
└─┬─┘
■ トレードは 専門職

僕が思うに、トレードというものを『仕事』として捉えたと、極めて専門性の高い職種です。

元々、僕が理系出身というのも影響しているのかもしれませんが

専門性の高い職種というのは、その関連するスキル・テクニックにフォーカスした時

「広く浅い知識・技術」よりも『エッジの効いた、狭く深い知識・技術』の方が

高いパフォーマンスを発揮する傾向があります。

▼参考ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1590869926864384000?s=20&t=t9FfOCW5jKch9ST34JtyDQ>

この理由は単純で、「広く浅く」で理解できることというのは、逆に普遍性が高く

誰でもそれらしく語る事ができるし、言ってしまうえばその筋の専門家でなくても分かる(できる)程度のレベルまでしか入ってこられないからです。

もちろん、それで充分に対応可能な範囲はありますが

こと、トレードにおいてはそのようなレベルの知識・技術で勝てるほど簡単なものではありません。

(多くの人が勝てず、相場から去ることになる現実を見れば一目瞭然ですね)

では、我々がその『少数の勝てる側』になるにはどうしたらよいのか。

それは、自分が選択したひとつの武器に対して『徹底的に深掘りした技術』を身につけることしかありません。

先に紹介した参考ツイートにも書いたように、僕の言う『狭く深く掘る技術』というのは

ひとつの物事を『要素に分解し、徹底的に検証する』ことが基本となります。

たとえば、これまでのメルマガでも散々言及しましたが、『MAの収縮』と一口に言っても

ただその形のチャートを見るだけが検証ではありません。

特に、フォワードテストで実際にトレードしてみると、色んな迷いや疑問が湧いてくると思います。

それが、自分の武器に対する『内部の要素』を深掘りするキッカケであり、そこを潰すことによって、更に型が強化されていきます。

- ・よく値が伸びる『MAの収縮』とはどんな形なのか(膨大な母数から傾向を探る)
- ・H1/20MAとのプライスアクション(G1か? G2か?の区別をするための基準)
- ・待ち伏せたMAに対するM1足の分解パターンの形の捉え方

これらは、僕が実際に自分の『型の細部』として、実際に検証した課題の極一部です。

今でも、何か課題を見つけては、過去のチャートをひっくり返して傾向・頻度・勝率などを集計する検証を行っています。

これらの不確定要素や疑問を潰す事が出来れば、もっと迷いなくエントリー・見送りの判断ができるようになるし

それに伴ってトレードの精度が向上し、トータルパフォーマンス(利回り)が改善されていくわけです。

わけしり顔でテクニカルの解説をしているツイートを「ふむふむ」と読んで納得しているだけでは

頭でっかちになるだけで実戦力はいつまでも身に付きません。

自分がそのレベルの、「勝てない人たちのひとり」で終わりたくないのであれば

ここでひとつ腹をくくって、自分の武器をひとつ手に取り、その装備を分解・検証・再構築によって

自分にしか扱えない装備品を作るつもりで、型作りをしていきましょう。

今日の話は、改めて自戒も込めて書いたもので、ちょっと過激な表現もありますが(笑)

これを熱心に読んでくれる皆さんには、その想いが少し伝わればいいなと思っています。